

## 第2回審議会ご意見に対しての一覧表

①市民			
設問	課題	対応目標-施策	対応
問1	特段の準備やスケジュール確保の必要がない個人活動が上位である。施策の方向として考慮するべき。	基本目標1-施策（1） 「指定管理者によるスポーツ事業・教室の開催」	市民体育館での指定管理者による自主事業など、フィットネス体験会などを実施して活動の機会の充実を図ります。
問3	民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ加入が上位である。自分の子どもにも参加させることができような経済力があるか心配。	基本目標3-施策（3） 「部活動地域展開事業」	子どもにより質の高いスポーツ機会を提供できるよう、休日におけるスポーツの場として、地域クラブの充実を図ります。
問4,5	ヨガは世の中的に人気が高い。時間の取れない層に対して夜間に活動できる機会を提供できないか。スポーツをしない理由が「仲間がいない」「身近に施設がない」等の理由の場合は、市の積極的な取り組みや啓発で解決できないか。	基本目標1-施策（1） 「指定管理者によるスポーツ事業・教室の開催」	問1と同様
問8,9	スポーツを必要と考えている市民が9割を超えている。活動のための施設の充実や経済的支援を行うことが重要である。ボランティアの活動をしたいと思っている割合が2割ほどいるのでうまくリンクできると地域部活動に広がっていくと思う。	基本目標3-施策（2） 「ボランティアの活用と育成」	市が主催する上尾市民体育祭や上尾シティハーフマラソンなどをとおして、より多くの市民がボランティアに参加できるよう、今後とも埼玉県ボランティア制度等を活用して、より多くの市民にボランティアに参加していただけるよう努めます。
問10	近年学校体育では、実際に実施することだけでなく「みる」「支える」「知る」など自己の適正に応じて運動やスポーツの多様な関わり方を重要視している。スポーツに関わるきっかけとしてスポーツ観戦はスポーツの良さを楽しむために重要であり、生で観戦できる方法が増えるといい。	基本目標2-施策（3） 「プロスポーツチームの試合開催の周知」	市内スポーツ施設でのプロチームの試合や、上尾市を拠点に活動するプロスポーツチームとの交流事業を通じて、さらに「観るスポーツ」の普及に努めます。
問11,12	障がい者スポーツに対して関心を高める必要がある。	基本目標2-施策（5） 「ユニバーサルスポーツの推進」	障害のある人となない人が一緒に参加できるユニバーサルスポーツの体験会などを開催し、障害者スポーツへの理解促進に努めます。
問18	総合型地域スポーツクラブについて知らない市民が多いが、参加及び入会希望者が多いこともわかった	基本目標2-施策（2） 「部活動地域移行（展開）における企業等との実施」	現状活動の実態がない状況のため、部活動地域展開にあたる地域クラブ等の取り組みを軸に普及・充実に努めます。
問19	施設、設備の充実が必須。せめて東側に体育館がほしい。	基本目標1-施策（1） 「スポーツ施設の整備」	既存の施設の充実及び武道館等の市が管理する施設以外の施設の有効活用を進めます。
問23,24	市民の半数は、部活動を地域で展開することは理解を示しているが、中学生の半数以上が受け入れられるか心配である。	基本目標3-施策（2） 「部活動における外部指導者等の活用」 基本目標3-施策（3） 「部活動地域展開推進事業」	受け入れられる基盤を作れるように部活動地域展開推進事業を進めます。

②小学生			
設問	課題	対応目標-施策	対応
問2	8割以上の生徒が運動が好きと答えている。市としてさらに施設設備の充実、指導者の育成、スポーツ大会等に力を入れる必要がある。	基本目標2-施策（2） 「スポーツ協会支部や団体スポーツ推進委員などによる教室の開催」	引き続き庁内各課で連携してスポーツ体験等のイベントの実施や整備の有効活用に努めます。
問7	運動が得意でないため運動をしない児童が最も多かったが、これは学校体育が目指していることの指導が徹底されていない結果である。真摯に受け止め、学校では運動好きな生徒を増やしていきたい。	基本目標2-施策（4） 「児童・生徒の実態に応じた運動の取組」	大会などの実施を通して児童生徒の体力向上を図るとともに、運動をする楽しみを体験してもらうことで、スポーツに親しむ基盤づくりを行います。

③中学生			
設問	課題	対応目標-施策	対応
問16	スポーツのできる場所や施設の充実を望んでいる生徒が77%いる。	基本目標 1 -施策（1） 「スポーツ施設の整備」	市民アンケート①問19と同様
問19	運動部加入者全員の生徒を受け入れられるか不安である。そのための個人やクラブに対しての補助金や指導者への手当を望む。	基本目標 3 -施策（2） 「部稼働における外部指導者等の活用」 基本目標 3 -施策（3） 「部活動地域展開推進事業」	市民アンケート①問23,24と同様
問21	「休日の活動はしたくない」「学校の部活動でないなら参加したくない」という回答について、スポーツ庁の意向と生徒の感覚に溝があるように感じる。部活動の顧問教師のサポートや連携が必要と考える。	基本目標 3 -施策（2） 「部活動指導者の指導向上研修会等の実施」	市民アンケート②問2と同様
問22,23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動に代わるAGEO地域クラブに参加していない」が8割を超えており、「今後も参加しない・おそらく参加しない」も8割近い。平日の学校部活動だけではスポーツとの触れ合う機会が少ないと感じるため、休日にもスポーツができるよう検討する必要がある。</li> <li>・AGEO地域クラブの認知度が低いと感じる。</li> </ul>	基本目標 3 -施策（3） 「部活動地域展開事業推進」	引き続きAGEO地域クラブについて周知を進めるとともに、より質の高い運動に取り組めるようクラブの充実を図ります。

④団体			
設問	課題	対応目標-施策	対応
問4	チームの高齢化が進んでおり今後が懸念される。	基本目標 2 - 施策（3） 「ユニバーサルスポーツの推進」	全国的な問題であるが、生涯スポーツの獲得を目的としたイベントを充実させ、競技人口を増やす取り組みを進めます。
問10	市内体育設備の充実を望む。	基本目標 1 - 施策（1） 「スポーツ施設の整備」	市民アンケート①問19と同様